

## オゾンガス発生装置

## 参考仕様書

項目	型式	MOP-0420M
オゾンガス発生量 ※1		0~20.0 g/H (20℃ 大気圧)
オゾンガス濃度 ※1		0~83.3 g/m <sup>3</sup> (20℃ 大気圧)
オゾンガス流量 ※1		4L/min [0.24 m <sup>3</sup> /H]
オゾンガス圧力 ※1		0.1 MPa
オゾナイザー ※1		空冷円筒型 無声放電方式
酸素ガス発生部		PSA方式 (O <sub>2</sub> 濃度 90.0%以上 露点-60℃以下)
電源電圧		1φAC200V 50Hz
消費電力		約1.2kW
運転方式		手元/遠隔運転切替式
電気信号入出力 ※2		(入力) 接点容量DC24V 0.1A以上必要 ①遠隔発停信号                    ON     : 装置運転 OFF   : 装置停止  (出力) 接点容量AC125V 1A以内 (ドライ接点) ①運転中信号                        運転時 : ON ②一括異常信号                      異常時 : ON
オゾンガス出口		Rc 1/4
ドレイン出口		Rc 1/4
環境周囲温度		5 ~ 35 ℃ (結氷なきこと)
環境周囲湿度		95 %RH 以下 (結露なきこと)
寸法		450W × 550D × 1200H(キャスター及び突起物含まず)
重量		約120kg
装置色		マンセル 2.5Y9/1 半艶

## ※1 オゾンガス発生量について

## (1) オゾンガス発生量の濃度と流量の関係

$$\text{オゾンガス発生量 (g/H)} = \text{オゾンガス濃度 (g/m}^3\text{)} \times \text{オゾンガス流量 (m}^3\text{/H)}$$

(2) オゾンガス濃度は、発生量調節器で0から調整ができます。

(3) オゾンガス流量は、流量調節バルブで調整ができます。

(4) 空冷円筒型無声放電方式のため、設置環境温度によりオゾン濃度(オゾン発生量)が変化します。高温になるほど低下すると共に寿命が短くなります。

※2 一括異常信号は、コンプレッサー異常/PSA異常/オゾナイザー異常が含まれます。